

2014年(平成26年)9月18日

## 第7回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞 候補者推薦公募のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、「第7回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞」の受賞候補者の推薦公募を、2014年9月18日(木)より開始します。

同賞は、スポーツ振興において多大なる実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰し、受賞者のたゆまぬ努力と成果に敬意を表するものです。競技、指導、研究、普及、ジャーナリズムなどスポーツに関する幅広い分野において、高く評価されるのに相応しい功績をあげられ、且つこれまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」としての人物・団体にスポットライトをあてています。また、受賞者の活動プロセスやその実像を通して、チャレンジすることの尊さや大切さ、また「努力は報われる」ことが社会に浸透していくことを目的としています。

### 記

- 募集期間: 2014年9月18日(木)～11月17日(月)
- 推薦者: 競技団体、大学、学会、報道機関、ジャーナリスト等
- 推薦方法: 推薦状をFAXにて当財団までお送りください ※別紙「推薦状」をご使用ください
- 賞の概要:

	功労賞	奨励賞
対象となるチャレンジ	長年にわたるスポーツ振興への貢献や過去の先駆的な実績を誇るチャレンジ	今後のスポーツ振興に大きな影響力が期待される、その年、極めて高い成果を上げたチャレンジ
表彰対象者	すでに優れた成果を上げ、功を成した人物・団体	上記チャレンジを通じて高い成果を上げ、今後さらなる成長が期待される人物・団体
評価のポイント	長年もしくは過去に行われ、年数を経てから高い成果と認められた尊敬に値する礎的、先駆的なチャレンジであること。たとえば指導者、研究者、審判、ジャーナリストなどによる、その競技やスポーツ全体の底上げに貢献、もしくは海外などで裾野拡大に尽力したチャレンジなど。	短期的、もしくは中期的に取り組み、高い評価を受けた賞賛に値するチャレンジであること。たとえば指導者、研究者、トレーナー、サポートメンバー、審判、ジャーナリストなどで世界レベルの成果を発揮するにあたり、重要な役割を果たしたチャレンジなど。
賞金/副賞	賞金 100万円(チームの場合は200万円) 賞状・メダル/副賞	

- 審査: 推薦された候補者の中から、2回の選考委員会を経て当財団理事長が決定します。2014年2月発表予定。  
※審査において表彰の基準を満たす対象者がいないと判断された場合は、その年の表彰を見送る場合があります。
  - 表彰式: 2015年4月開催予定 ※日程の詳細は別途ご案内いたします
  - 主催: 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団
  - 後援: 公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会  
公益財団法人日本障害者スポーツ協会 日本パラリンピック協会
- ※スポーツチャレンジ賞の詳細は YMFS ウェブサイトからもご覧いただけます <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/>

■この件に関するメディア関係の方のお問い合わせは、下記までご連絡ください

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・石塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

## ■ 歴代受賞者の紹介（敬称略）

	受賞者		分野	選考の理由となったチャレンジテーマ
第1回 平成20年度	功労賞	中野 政美	柔道指導者	女子柔道の世界レベル選手の育成と女子柔道の発展
	奨励賞	丸山 弘道	車いすテニス指導者	北京パラリンピック金メダルへのチャレンジ
第2回 平成21年度	功労賞	塚越 克己	スポーツ医・科学研究者	日本のスポーツ医・科学の発展を牽引した「縁の下の力持ち」
	奨励賞	増田 雄一	アスレティック・トレーナー	トップレベルのサポート技術を一般レベルに拡大する取り組み
第3回 平成22年度	功労賞	高田 静夫	サッカー審判員	日本人審判員の育成をめざした各種制度の確立と運用
	奨励賞	中村 宏之	陸上指導者	雷国から世界をめざすトレーニングの独自開発と実践
		中北 浩仁	アイススレッジホッケー指導者	強化システムの大改革で日本初のメダル獲得にチャレンジ
第4回 平成23年度	功労賞	岸本 健	スポーツ写真家	スポーツ写真家の草分けとして、スポーツ報道の機会拡大に貢献
		水谷 章人	スポーツ写真家	独創的な表現でスポーツの魅力を伝え、スポーツ写真家の育成・環境整備にも尽力
	奨励賞	(該当なし)	—	—
第5回 平成24年度	功労賞	樋口 豊	フィギュアスケートコーチ、振付師、解説者	国際的な信頼と幅広いネットワークを活かし、日本フィギュアスケートの「開国」に貢献
	奨励賞	江黒直樹	ゴールボール女子日本代表チームヘッドコーチ	「楽しいリハビリスポーツ」の普及をめざした 日本女子ゴールボールチーム 金メダルへの挑戦
第6回 平成25年度	功労賞	臼井二美男	義肢装具士、義肢研究員	スポーツ用義足開発の第一人者として「走る喜び」を提供する挑戦
	奨励賞	東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 戦略広報部		戦略広報という立場から東京2020招致を支えたプロフェッショナル

## ■ 選考委員会（敬称略） 平成25年9月18日現在（順不同）

選考委員長	浅見俊雄	東京大学名誉教授/日本体育大学名誉教授			
選考委員	福永哲夫	鹿屋体育大学学長/東京大学名誉教授	選考委員	小西由里子	国際武道大学体育学部教授
	伊坂忠夫	立命館大学スポーツ健康科学部教授・副学部長		定本朋子	日本女子体育大学大学院研究科長 基礎体力研究所所長・教授
	景山一郎	日本大学生産工学部教授		山本裕二	名古屋大学総合保健体育科学センター教授
	草加浩平	東京大学大学院工学系研究科特任教授		ヨコセッターランド*	嘉悦大学女子バレーボール部監督(元バレーボール選手)
	篠原菊紀	諏訪東京理科大学共通教育センター教授		今給黎教子	海洋スポーツインストラクター/冒険家
	綿貫茂喜	九州大学大学院芸術工学研究院教授		村田 互	専修大学ラグビー部監督(元ラグビー選手)
	衛藤隆	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所所長/東京大学名誉教授		杉本龍勇	法政大学経済学部教授(元陸上選手)
	遠藤保子	立命館大学産業社会学部教授		丸山弘道	株式会社オフィス丸山弘道/テニスコーチ
	川上泰雄	早稲田大学スポーツ科学学術院教授		高橋義雄	筑波大学体育系准教授

## 【ご参考】 スポーツチャレンジ賞スペシャルサイト公開中

YMFS ウェブサイトでは、スポーツチャレンジ賞のスペシャルサイト「BACK STORIES」を公開しています。このコンテンツは「縁の下の力持ち」である受賞者の人物像や、活動の足跡・実績を深く掘り下げることで見えてくる、チャレンジすることの尊さや大切さを広く社会に伝えることを目的としています。

URL <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/backstories/>





## 返信先 (FAX) : 0538-32-1112

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団事務局スポーツチャレンジ賞推薦受付担当行

※ご多忙の折、恐縮ではございますが、必要事項をご記入いただき11月17日(月)までにご返信をお願いします。

### ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞 推薦状

<b>推薦者 氏名</b>		
<b>推薦者 所属</b>		
<b>推薦者 連絡先</b>	住所	
	TEL	E-mail
<b>推薦する賞の名称</b> (該当する賞を○で囲む)	功労賞	奨励賞
<b>対象となるチャレンジ</b>		
<b>候補者 氏名</b>		
<b>チャレンジの 具体的な成果</b>		
<b>主な受賞歴</b> (過去に受賞がある場合)		
<b>推薦理由</b>		